ロボット（2010）

ENDHIRAN
THE ROBOT

メディア 映画
ジャンル ＳＦ　アクション　コメディ
製作国 インド
色彩 Color
時間 139分
初公開日 2012/05/12
公開情報 アンプラグド
映倫 G

【キャッチコピー】
ワケわからんが面白い

【解説】
　インドのスーパースター、ラジニカーントの主演で贈る、インド映画史上最高の製作費にして最大ヒットを記録したエンタテインメント・アクション超大作。天才博士が開発した自分に瓜二つのロボットが、博士の恋人に恋してしまい、やがて世界の脅威となる大暴走を繰り広げるさまを、最新のＶＦＸ技術を駆使した圧倒的なスケールの映像でパワフルかつエネルギッシュに描き出していく。共演は「ミモラ　-心のままに-」のアイシュワリヤー・ラーイ。日本での劇場公開にあたっては、当初は短縮版（139分）のみの公開だったが、好評につき一部劇場にて完全版（177分）の上映も実現。
　天才工学博士バシーは長年の研究の末に、高性能二足歩行型ロボット、チッティの開発に成功する。すべてにおいて人間を凌駕する能力を有し、命令に忠実なチッティに人類の希望は膨らんだ。しかし、人間の感情もプログラムされたチッティは、博士の恋人サナに恋してしまうのだった。やがて博士の怒りを買い、廃棄処分にされてしまうチッティ。それを悪徳工学者が回収し、最強最悪のターミネーターへと改造。冷酷な感情に支配されたチッティはサナを拉致すると、バシー博士と人類に容赦のない反撃を開始するのだった。

【クレジット】

監督	シャンカール	Shankar
製作	カラニティ・マラン	Kalanithi Maran
製作総指揮	ハンスライ・サクセナ	Hansraj Saxena
撮影	Ｒ・ラトナヴェール	R. Rathnavelu
プロダクションデザイン	サブ・シリル	Sabu Cyril
編集	アンソニー・ゴンザルヴェス	Anthony Gonsalves
音楽	Ａ・Ｒ・ラフマーン	A.R. Rahman
出演	ラジニカーント	Rajni Kanth
	アイシュワリヤー・ラーイ・バッチャン	Aishwarya Rai Bachchan
	ダニー・デンゾンパ	Danny Denzongpa

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.